

途上国の女の子の教育支援募金を実施

～全 184 店舗の会計レジの募金箱約 6,000 個で展開～

株式会社イトーヨーカ堂(代表取締役社長:亀井 淳、以下「イトーヨーカドー」)は、2016年3月1日(火)より、国内のGMS(総合スーパー)として初めて、全国のイトーヨーカドー、セブン美のガーデン、ザ・プライス、全184店の会計レジ約6,000台に募金箱を通年設置し、年間を通じてお客様、従業員へ募金を呼びかける活動を行っております。(※セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く。)この募金は今後、3か月単位で様々な社会的課題の解決への一助になるテーマを決めて実施してまいります。

このたび、本年9月～11月の3ヶ月間の募金については、国連に公認・登録された国際NGO「プラン・インターナショナル」と協力して実施することを決定いたしました。「プラン・インターナショナル」は、途上国の女の子たちの問題を訴え、彼女たちが「生きていく力」を身に着けることをめざして活動している団体です。途上国の女の子の教育支援の活動資金として、募金の全額を公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンへ寄付いたします。



【レジの募金箱】



【約 6,000 台のレジに取り付け】



【店内ポスターを展開】



世界の女の子に、生きていく力を。

BECAUSE I am a Girl

PLAN INTERNATIONAL

イトーヨーカドーは、一つの社会的課題に偏らず、様々な分野への課題に向き合っております。今後もお客様・従業員と共に事業活動を通じた社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

以上